



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



ウエイトリフティング 成年男子



フェンシング 少年女子



ラグビー 成年男子



なぎなた 少年女子

(東北総体)

contents

- ◎平成26年度 第41回東北総合体育大会 成績一覧…………… 2
- ◎第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)
秋田県選手団結団式 …………… 3
- ◎煌めく青春 南関東総体2014入賞者インタビュー …………… 4
- ◎平成26年度 全国高等学校総合体育大会成績 …………… 6
- ◎平成26年度 東北・全国中学校体育大会上位成績一覧 …… 7
- ◎第6期秋田県中学生強化選手指定証交付式…………… 8
- ◎秋田県中学生強化選手競技力向上研修 …………… 9
- ◎指導者に聞く…………… 10
- ◎Go forward!!…………… 11
- ◎強化拠点校紹介
秋田県立大曲農業高等学校 ハンドボール部(女子) …… 12

- ◎強化拠点校紹介
秋田県立湯沢高等学校 ハンドボール部(男子) …………… 14
- ◎Go for it!!「ライフル射撃協会」…………… 16
- ◎スポーツ立県あきた応援事業
「世界へ羽ばたけ!秋田のスポーツ講演会」…………… 17
- ◎第18回 日韓青少年夏季スポーツ交流事業 …………… 18
- ◎(公財)秋田県体育協会だより・会議録(抄)・編集後記 …… 19
- ◎賛助会員…………… 20
- ◎寄付名簿…………… 21
- ◎「スポーツ立県あきた」応援キャラクター『スパッキー』グッズ …… 22



平成26年度 第41回東北総合体育大会 成績一覧

(大会本部公式記録による)

主会期：8月22日(金)～24日(日) 会場：福島県

※ ◎…通過、×…不通過、S…ストレート出場、―…不出場

競技名	種別・種目	通過枠	成績	通過	
アイスホッケー	成年男子	4	12月開催		
	少年男子	2	12月開催		
水泳	少年男子 水球	1	4位	×	
	少年女子 シンクロ	2	―	―	
サッカー	成年男子	2	1位	◎	
	女子	2	5位	×	
	少年男子	3	5位	×	
ボート	成年男子	舵手つきフォア	2	5位	×
		ダブルスカル	S	1位	S
		シングルスカル	2	5位	×
	成年女子	舵手つきフォア	3	1位	◎
		ダブルスカル	2	1位	×
		シングルスカル	2	5位	×
	少年男子	舵手つきフォア	2	5位	×
		ダブルスカル	3	5位	×
		シングルスカル	2	4位	×
	少年女子	舵手つきフォア	2	1位	◎
		ダブルスカル	2	―位	×
		シングルスカル	3	1位	◎
フェンシング	成年男子	S	―	S	
	成年女子	3	1位	◎	
	少年男子	3	2位	◎	
	少年女子	2	1位	◎	
バドミントン	成年男子	S	2位	S	
	成年女子	2	2位	◎	
	少年男子	2	5位	×	
	少年女子	4	5位	×	
カヌー	成年男子	レーシングK-1	3	5位	×
		レーシングC-1	3	2位	◎
		スラロームK-1	3	1位	◎
		ワイルドK-1	2	1位	◎
	成年女子	レーシングK-1	2	1位	◎
		スラロームK-1	2	3位	×
		ワイルドK-1	2	3位	×
	少年男子	レーシングK-1	4	5位	×
		レーシングC-1	3	―	―
		レーシングK-2	1	―	―
		レーシングC-2	2	―	―
	少年女子	レーシングK-1	3	―	―
レーシングK-2		1	―	―	
レーシングK-4		1	―	―	
ボウリング	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	3	3位	◎	
	少年男子	3	3位	◎	
	少年女子	3	4位	×	
ゴルフ	成年男子	S	―	S	
	女子	S	―	S	
	少年男子	3	6位	×	
陸上競技	男子	S	―	S	
	女子	S	―	S	
テニス	成年男子	3	5位	×	
	成年女子	3	2位	◎	
	少年男子	S	―	S	
ホッケー	少年女子	S	―	S	
	成年男子	1	5位	×	
	成年女子	1	3位	×	
ボクシング	少年男子	1	5位	×	
	少年女子	1	―	―	
	成年男子	4	5位	×	
バレーボール	少年男子	3	6位	×	
	成年男子	2	3位	×	
	成年女子	2	3位	×	
体操	少年男子	3	2位	◎	
	少年女子	3	5位	×	
	成年男子	1	4位	×	
体	成年女子	1	―	―	
	少年男子	3	6位	×	
	少年女子	3	4位	×	
	新体操	3	2位	◎	

バスケットボール	成年男子	1	2位	×	
	成年女子	1	1位	◎	
	少年男子	S	2位	S	
	少年女子	1	2位	×	
レスリング	成年	S	1位	S	
	少年	S	1位	S	
ウエイトリフティング	成年	S	3位	S	
	少年	S	6位	S	
ハンドボール	成年男子	2	5位	×	
	成年女子	2	3位	×	
	少年男子	2	3位	×	
自転車	少年女子	2	2位	◎	
	成年	S	―	S	
ソフトテニス	少年	S	―	S	
	成年男子	2	3位	×	
	成年女子	2	3位	×	
	少年男子	2	5位	×	
卓球	少年女子	S	2位	S	
	成年男子	4	2位	◎	
	成年女子	2	2位	◎	
軟式野球	少年男子	2	6位	×	
	少年女子	S	5位	S	
	成年男子	4	1位	◎	
相撲	成年男子	S	4位	S	
	少年男子	S	5位	S	
馬術	成年男子			×	
	成年女子		総合5位	◎	
	少年			◎	
柔道	成年男子	S	2位	S	
	成年女子	2	5位	×	
	少年男子	2	5位	×	
	少年女子	2	2位	◎	
ソフトボール	成年男子	2	3位	×	
	成年女子	2	3位	×	
	少年男子	1	5位	×	
弓道	少年女子	1	2位	×	
	成年男子	4	1位	◎	
	成年女子	3	4位	×	
	少年男子	2	5位	×	
ライフル射撃	少年女子	2	1位	◎	
	成年		5位	◎	
剣道	成年男子	S	3位	S	
	成年女子	2	1位	◎	
	少年男子	2	1位	◎	
	少年女子	2	4位	×	
ラグビーフットボール	成年男子	2	1位	◎	
	少年男子	2	2位	×	
山岳	成年男子	S	2位	S	
	成年女子	2	6位	×	
	少年男子	3	5位	×	
アーチェリー	少年女子	2	5位	×	
	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	3	6位	×	
空手道	少年男子	2	6位	×	
	少年女子	2	5位	×	
	成年男子	S	―	S	
	成年女子	S	―	S	
銃剣道	少年男子	S	3位	S	
	少年女子	2	3位	×	
クレール射撃	成年	トラップ	S	4位	S
		スキート	4	4位	◎
なぎなた	成年女子	S	2位	S	
	少年女子	S	3位	◎	

東北総体未実施競技 【水泳(競泳・飛込)・セーリング】
【スキー・スケート】※冬季競技



第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体) 秋田県選手団結団式

平成26年9月4日(木)、秋田県立体育館において第69回国民体育大会の結団式が開催された。会期は10月12日から22日(会期前競技は9月7日～14日)。本県選手団は37の正式競技に33競技、公開競技では、高等学校野球(軟式)、トライアスロンの2競技に出場する。

結団式では、「県民の代表としての自信と誇りを持ち、大会までの残された期間を有効に活用して十分に調整し、万全の体調で臨んでほしい。また、チャンピオンスポーツ本来の姿である勝つことの意義をしっかりと認識し、強い気持ちをもって本番の勝負に挑んでほしい」と団長の鈴木洋一県体協会長があいさつし、堀井副知事、能登県議会議長、米田教育委員会教育長からも激励のことばをいただいた。

旗手を務めるフェンシング競技少年女子の岡部麻衣選手(聖霊女子短期大学付属高校3年)に団旗が授与され、選手を代表してレスリング競技少年男子の櫻庭功大選手(秋田商業高校3年)が「スポーツをする喜びと支えていただくことへの感謝を胸に、スポーツ立県秋田の代表として力の限りプレーをし、がんばらんば国体の開催地長崎から秋田に、そして東日本大震災の復興に携わるすべての方々に、元気がとがんばる力を発信する」ことを誓った。

さらに、秋田ノーザンハピネッツ前ヘッドコーチの中村和雄氏が「皆さんのがんばりが、勝ちが県民を感動させる。楽しんで、くたばるまでがんばって『俺は勝つ、俺は勝つ、俺は勝つ』と思って競技をしてほしい」と勝利を目指すにあたっての気構えを熱く語り士気を高めた。

また、結団式開始前には、スポーツファーマシストの鳥海良寛氏(宍とりうみファーマシー)による「国体におけるドーピング防止とその注意事項」についての講習会が行われた。

ドーピング防止講習会



選手代表誓いのことば



中村和雄氏『勝利を目指して』



正式競技 会場地・日程一覧

競技名	会場地	10月												
		12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)		
総合開会式	諫早市	◎												
総合閉会式	諫早市													◎
陸上競技	諫早市									●	●	●	●	●
サッカー	島原市・雲仙市						●	●	●	●	●	●	●	
テニス	長崎市		●	●	●	●								
ボート	長崎市								●	●	●	●	●	
ホッケー	佐世保市・川棚町						●	●	●	●	●	●	●	
ボクシング	雲仙市		●	●	●	●	●							
バレーボール	諫早市・島原市・佐世保市								●	●	●	●	●	
体操	競技		●	●	●	●								
	新体操									●	●			
バスケットボール	長崎市・大村市								●	●	●	●	●	
レスリング	島原市		●	●	●	●								
セーリング	長崎市		●	●	●	●								
ウエイトリフティング	諫早市		●	●	●	●	●							
ハンドボール	佐世保市					●	●	●	●	●	●	●	●	
自転車	ロード		●											
	トラック			●	●	●	●							
ソフトテニス	佐世保市		●	●	●	●								
卓球	大村市		●	●	●	●								
軟式野球	佐世保市・平戸市								●	●	●	●	●	
相撲	平戸市		●	●	●									
馬術	雲仙市						●	●	●	●	●	●	●	
フェンシング	諫早市		●	●	●	●								
柔道	諫早市								●	●	●	●	●	
ソフトボール	時津町・壱岐市・大村市・長与町								●	●	●			
バドミントン	長崎市		●	●	●	●								
弓道	島原市		●	●	●	●								
ライフル射撃	長崎市								●	●	●	●	●	
剣道	五島市								●	●	●	●	●	
ラグビーフットボール	長崎市						●	●	●	●	●	●	●	
山岳	大村市						●	●	●					
カヌー	スプリント		●	●	●	●								
アーチェリー	佐世保市		●	●	●	●								
空手道	佐世保市		●	●	●	●								
銃剣道	大村市		●	●	●	●								
クレー射撃	熊本県益城町								●	●	●	●	●	
なぎなた	松浦市								●	●	●			
ボウリング	長崎市		●	●	●	●								
ゴルフ	諫早市・大村市	●	●	●	●	●								



煌めく青春 南関東総体2014 入賞者にインタビュー



レスリング 60 kg級 第1位

秋田商業高校 3年
米澤 圭

(入新井第二小学校(東京) - 大森第三中学校(東京))

1. インターハイに向け、特にどういったことを意識して日々取り組みましたか？

3月に行われた全国選抜大会では主に立ち技でポイントを獲得することができました。その反面、寝技でポイントを獲得することがあまりできませんでした。4月からは立ち技の強化はもちろんですが寝技でも追加ポイントを獲得できるよう意識して取り組みました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

多くの皆様の声援や家族からの応援に対する感謝の気持ちを持たれたことです。特に母が秋田商業で頑張ってきたと言ってくれなかったら今の自分はないと思っています。また、監督を始め多くのOBの方々からの指導は今後のレスリングに対する姿勢に大きく影響したと思っております。

3. チームを紹介してください

指導者からやらされる練習ではなく、上級生が中心となって全体を引っ張っていく練習です。自分自身を追い込む気持ちがないとなかなかできない練習体制だと思います。また、たくさんの先輩たちが仕事の合間に指導に来てくれます。多いときは部員数と同じ位来てくださいます。これも多くの刺激とアドバイスをいただけるチャンスだと感じています。



陸上競技 3000 m SC 第2位

秋田工業高校 3年
續木 悠也

(協和小学校 - 協和中学校)

1. インターハイに向け、特にどういったことを意識して日々取り組みましたか？

私はラストの切り替えが得意だったので、それを活かして上のステージで勝負していきたいと思いました。毎日の練習からレースをイメージして、ラスト一本を大切にしていきながら取り組んできました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

甘い考え方では優勝という目標にたどり着けないということを感じました。普段の生活から常に目標を持って、「なれればいい」という考え方ではなく、「なる」という強い意志が大切だと思いました。

3. チームを紹介してください

常に全国で勝負することを考えて取り組んでおり、競技力の向上だけでなく将来の自分の基礎をお互いに作っているチームだと思います。



ボート 女子舵手付きクォドルプル 第2位

本荘高校 3年
鈴木 杏実

(象潟小学校 - 象潟中学校)

1. インターハイへは、特にどういった準備をして臨みましたか？

昨年・一昨年と2年続けて3位となり、今年は三度目の正直という気持ちで常に日本一を意識してきました。質・量とも他校に勝る練習をこなし、その中で頂点に立つにふさわしいチームとなれるよう日々努力しました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

指導して下さった先生、仲間を信じてきて良かったと思いました。私達のクルーには多くの課題がありましたが、それを皆で共有して1つひとつ解決していく中で、強い信頼関係が生まれていたのだと改めて実感しました。

3. チームを紹介してください

昨年の全国3位のメンバーが残るものの、体格・体力面で劣る部分がありました。故障者も多く、何度もメンバーやポジションを入れ替えました。最終的にクルーが決まったのは予選の5日前でした。それでも結果が残せたのは、選手層の厚さです。艇に乗ったのは五人ですが、部員全員で手にした準備勝です。



レスリング 74 kg級 第5位

秋田商業高校 3年
櫻庭 功大

(豊川小学校 - 羽城中学校)

1. インターハイに向け、特にどういったことを意識して日々取り組みましたか？

インターハイに向けて、体力面や精神面の向上を意識して日々取り組みました。特に体力面では力負けしないよう筋力を高める練習に励みました。

3月の全国選抜大会で悔しい思いをしたので、どこに原因があるのかを自分なりに考え、先生やコーチの皆さんに教えていただき、意識して取り組むことができました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

自分より力の面を上にいる人間がたくさんいるということです。私自身、学校対抗戦でも個人対抗戦でも同じ選手と戦い負けてしまいました。自分にさらに必要なものや足りないものがあることを感じた大会でした。

3. チームを紹介してください

仕事が忙しいにもかかわらず練習に来てくださるコーチ、OBがたくさんいます。多くの先輩たちが胸を貸して下さり、自分たちの弱点や必要なことを指導してくれます。また試合前には現役の大学生が帰省して、中央のレスリングの技や試合運びなども指導してくれます。

スパーリング(乱取り)では自ら胸を貸してくれ、その後は技の確認や反復練習にも協力してくれます。単に技の指導だけではなく、個々人のあった技を模倣し、指導してくれます。今後も先輩たちの指導に恥じることのないよう精進していきたいと思っています。





柔道 男子 90 kg級 第5位

秋田高校 3年

長田 治親

(合川東小学校 - 合川中学校)

1. インターハイへは、特にどういった準備をして臨みましたか？

私はあまり器用ではなかったため、勝利に向けて1つの技“大内刈”を強化することを意識して取り組みました。様々な相手のパターンを想定し、より一撃の破壊力を秘めた技にすることができました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

日々の努力の積み重ね、それが全国5位という形でひとつ実を結んだことで、今まで自分がしてきた事は無駄ではなかったと感動を覚えると同時に、これまで支えてくださった方々への感謝の念が大きく湧きました。

3. チームを紹介してください

全体的に小柄な選手が多いですが、勝利への執念に関しては人一倍強くと自負しております。公立の進学校なので、他校と比べて練習時間は長くありませんが、短い練習で如何に強くなるか、これを各々が考えることで、内容が濃く、常に全力でぶつかり合える稽古を積んでいます。



3. チームを紹介してください

練習時間が少ない分、質を重視し、濃く充実した内容の練習をしています。部内の雰囲気は、コミュニケーションをしっかりとする良いものだと思います。インターハイという大きな試合を一つ終えて、強い先輩方や同期がいたからこそ今回の結果だと感じただけで、お互い高め合える良い部活で、これからも切磋琢磨していきたいです。



フェンシング フルーツ 団体5位

聖霊女子短期大学付属高校 3年

岡部 麻衣

(仁井田小学校 - 御野場中学校)

1. インターハイへは、特にどういった準備をして臨みましたか？

選手一人ひとりの意識を高め、全体のレベルアップを目指して練習してきました。全国では簡単に勝つことは出来ないため、苦しい試合を想定した練習なども取り入れられました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

感謝の心です。沢山の方々から応援の言葉をいただき、色々な方々のサポートがあったから、団体5位という結果を残せたと思います。本当に支えてくれた皆さんに感謝しています。

3. チームを紹介してください

チームの合言葉は「全員フェンシング」です。試合に出場できる選手は限られていますが、試合に出る人も出られない人も、全員が同じ気持ちで同じ練習メニューをこなします。きついトレーニングも皆で声を出し合いながらすることによって、試合で苦しくなった時でも積極的に声を出してプレーすることができます。こういった練習があったからこそ、今回の結果につながりました。



陸上競技 4×400mリレー 第8位

大館国際情報学院高校 3年

工藤 大晟

(二ツ井小学校 - 二ツ井中学校)

1. インターハイに向け、特にどういったことを意識して日々取り組みましたか？

普段からチーム内で競い合うことで、速いレース展開にも動じないような走力と精神力を強化しました。一人も欠けることが出来ないで声を掛け合いながら、絶対に怪我をしないようにケアも頑張りました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

部員みんなのサポート、先生方や地域の方々からの激励があり入賞を果たすことができました。自分自身が陸上を通して成長させてもらったという実感が、周囲に対する感謝の気持ちの強さに繋がっていると思います。

3. チームを紹介してください

部員全員非常に仲が良く活気があります。良い点、課題点も指摘し合ってこられたのが、結果に繋がったと思います。決して守りに入ることなく、シーズン通して切磋琢磨しながら挑戦し続けることが出来るチームです。



フェンシング サール 個人8位

(フルーツ団体5位メンバー)

聖霊女子短期大学付属高校 1年

仙葉 楓佳

(牛島小学校 - 城南中学校)

1. インターハイへは、特にどういった準備をして臨みましたか？

普段はフルーツを主に練習しています。私は高校に入学してから人一倍の練習を意識し、またメンタル強化も意識して取り組みました。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

サールでは、体力不足だと強く感じました。フルーツでは予選の大切さを痛感し、一本の重みがわかりました。トーナメントで同じ年の選手に負け、実力不足と感じたので、課題として、これからの練習も人一倍頑張ります。



ウェイトリフティング +105kg級 トータル8位

金足農業高校 2年

古山 翔太

(旭北小学校 - 山王中学校)

1. インターハイへは、特にどういった準備をして臨みましたか？

インターハイに出場が決まってから、自分の練習を見つめ直し、自分の長所であるパワー、そして弱点であるスピードを意識して練習しました。

自分の課題を見つけ、少しでも全国で通用する選手になるためです。

2. インターハイへ出場して、一番強く心に感じたことはどんな事ですか？

夢だった舞台に立てたという実感と、全国レベルの厳しさです。

全国レベルを肌で感じながら、8位に入賞できた瞬間はとても嬉しかったです。

3. チームを紹介してください

今年学校対抗全県20連覇を達成し、毎年多くの選手がインターハイに出場している自慢な部活です。練習中は、一人ひとりが声を出し、個人それぞれが目標を持って練習に取り組んでいます。

この伝統を受け継ぎ、後輩たちに伝えていきたいです。





平成26年度 全国高等学校総合体育大会成績

主会期：8月1日(金)～8月20日(水) 会場：東京都、千葉県、神奈川県、山梨県

順位	競技名(種目)	選手・学校
1位	レスリング 60kg級	米澤 圭 (秋田商業③)
2位	ボート女子かじ付き4人スカル	本 荘 加藤 千里③ 鈴木 杏実③ 土田 梨沙③ 齋藤 真美③ 土方 杏華②
	陸上競技 3000m障害	續木 悠也 (秋田工業③)
5位	レスリング 74kg級	櫻庭 功大 (秋田商業③)
	柔道	長田 治親 (秋 田③)
	フェンシング女子団体 ※ベスト8	聖 靈 岡部 麻衣③ 萩原 幸那③ 高橋 優月② 仙葉 楓佳① 石綿 夢望①
8位	陸上競技 4×400mR	国際情報学院 兎澤 航平③ 堀部 亘世② 木越 孔明② 工藤 大晟③
	フェンシング女子サーブル	仙葉 楓佳 (聖 靈①)
	ウエイトリフティング 105kg超級トータル	古山 翔太 (金足農業②)



両国国技館で行われた相撲



東京武道館で行われたなぎなた



川崎市とどろきアリーナで行われた
ハンドボール(女子)



山梨中銀スタジアムで行われた陸上競技



蕨崎中央公園で行われたサッカー



小田原アリーナで行われた剣道(男子)



墨田区総合体育館で行われた
バレーボール(男子)



平成26年度 東北中学校体育大会 秋田県選手上位成績一覧

主会期：平成26年8月1日(金)～11日(月) 会場：東北各地

(団体は3位・個人3位以内)

競技名	性	氏名・学年・学校名	種目	成績
陸上競技	男	加藤 伊織① 泉	1年100m	1位
	男	熊田 清琉① 大館東	1年100m	3位
	男	高橋 謙介③ 美郷	共通200m	3位
	女	鷹巣中学校	総合成績	1位
	女	関坂 星奈③ 横手明峰	共通200m	3位
	女	萩野 真紀② 鷹巣	共通800m	3位
	女	藤田正由加③ 鷹巣	2.3年1500m	3位
	女	渋谷 泉水② 花輪第一	共通走高跳	2位
	女	梶原 真夢③ 横手北	共通走高跳	3位
	女	三澤 彩乃②	共通 4×100mR	1位
	女	工藤 美幸③ 鷹巣		
	女	成田 萌②		
	女	小坂 菜③		
水泳競技	男	佐々木雄平③ 大館東	200m自由形	3位
	男	中原 樹人② 大曲	200m背泳ぎ	2位
	女	高野 雪愛③ 秋大附	50m自由形	2位
	女	高野 雪愛③ 秋大附	100m背泳ぎ	1位
	女	宮崎 海乃② 秋田東	100m平泳ぎ	1位
	女	佐藤真由子① 秋大附	100m平泳ぎ	2位
	女	宮崎 海乃② 秋田東	200m平泳ぎ	1位
	女	赤間 彩生③ 山王	100mバタフライ	1位
	女	赤間 彩生③ 山王	200mバタフライ	1位
	女	五十嵐美南②	400m メドレーリレー	1位
	女	赤間 明希① 山王		
	女	赤間 彩生③ 山王		
	女	伊藤 芽生②		
女	山王中学校	総合成績	1位	
女	秋田東中学校	総合成績	2位	
バスケットボール	男	山王中学校		2位
	男	横手明峰中学校		3位
	女	桜中学校		2位
サッカー	男	大曲中学校		3位
ハンドボール	女	湯沢北中学校		3位
軟式野球	男	桜中学校		3位
体操競技	男	豊澤 鉄平③ 山王	個人総合	1位
	男	豊澤 鉄平③ 山王	ゆか	1位
	男	豊澤 鉄平③ 山王	あん馬	1位
	男	豊澤 鉄平③ 山王	跳馬	3位
	男	豊澤 鉄平③ 山王	鉄棒	2位
	男	嶋田 大輝③ 能代二	ゆか	2位

競技名	性	氏名・学年・学校名	種目	成績
体操競技	女	能代第二中学校	女子団体	1位
	女	杉谷 柚羽③ 能代二	個人総合	2位
	女	杉谷 柚羽③ 能代二	跳馬	1位
	女	杉谷 柚羽③ 能代二	平均台	2位
新体操	女	泉中学校	女子団体	2位
	女	成田 望愛② 御所野	リボン	3位
バレーボール	男	横手北中学校		2位
	女	秋田南中学校		3位
ソフトテニス	女	増田中学校	女子団体	2位
	女	藤原あずさ③ 増田	女子個人	1位
	女	成田 愛梨③ 二ツ井	女子個人	3位
卓球	女	矢島中学校	女子団体	2位
	女	加藤 杏菜② 大曲	女子個人	3位
ソフトボール	男	本荘東中学校		3位
柔道	男	土崎中学校	男子団体	3位
	男	男鹿東中学校	男子団体	3位
	女	男鹿東中学校	女子団体	1位
	女	天王南中学校	女子団体	3位
	男	和久 巧凌③ 御野場	55kg級	3位
	男	今野 蓮③ 土崎	66kg級	1位
	男	石井 魁星③ 五城目一	81kg級	2位
	男	木村 琢人③ 天王	81kg級	3位
	男	佐藤 匠③ 横手南	90kg超級	3位
	女	吉田さくら① 飯島	40kg級	1位
	女	新田 怜美② 仙北	40kg級	3位
	女	西根 楓③ 御野場	44kg級	2位
	女	加賀谷未来② 飯島	48kg級	3位
女	鎌田 祭③ 男鹿東	52kg級	3位	
女	山田ひまわり② 天王南	57kg級	3位	
女	相馬日菜穂③ 男鹿東	70kg級	3位	
女	佐藤 果③ 横手南	70kg超級	1位	
剣道	男	山王中学校	男子団体	1位
	男	土崎中学校	男子団体	2位
	女	勝平中学校	女子団体	2位
	男	及川 拓② 山王	男子個人	3位
女	羽生 遥③ 勝平	女子個人	1位	
女	渡邊 美穂③ 天王南	女子個人	3位	
相撲	男	柴田 敏① 阿仁	1年個人	3位
	男	田村 武志① 秋田東	1年個人	3位

平成26年度 全国中学校体育大会 秋田県選手上位成績一覧

主会期：平成26年8月17日(日)～25日(月) 会場：全国各地

(団体は出場チーム成績、個人は8位以内)

競技名	性	氏名・学年・学校名	種目	成績
水泳競技	女	赤間 彩生③ 山王	100mバタフライ	8位
	女	赤間 彩生③ 山王	200mバタフライ	6位
体操競技	男	豊澤 鉄平③ 山王	個人総合	3位
	男	豊澤 鉄平③ 山王	ゆか	3位
	男	豊澤 鉄平③ 山王	あん馬	8位
柔道	男	今野 蓮③ 土崎	66kg級	5位
	女	佐藤 泉③ 横手南	70kg超級	3位
相撲	男	田代中学校	団体	5位



第6期 秋田県中学生強化選手指定証交付式



平成26年6月29日（日）、秋田市北部市民サービスセンターにおいて第6期秋田県中学生強化選手指定証交付式を挙行了た。

今回は、体操（新体操）、フェンシング、レスリング、陸上競技、ライフル射撃、バスケットボール、ハンドボール、ソフトボール、サッカー、テニス、バドミントン、卓球、柔道、相撲、剣道、空手道、水泳（競泳）、カヌー（スプリント）、スケート（スピードスケート）、スキー（アルペン、ジャンプ・コンバインド、クロスカントリー）の20競技、113名が指定された。堀井副知事からは「今年の春高バレーでは雄物川高校が見事にベスト4に入賞した。また、スキー国体においては女子の皇后杯が5年連続の全国制覇という偉業を成し遂げた。皆さんにはその後を次ぎ、そしてまた2020年の東京オリンピックを目指し、大きな夢、大きな志を持ってこれから頑張ってもらいたい」と激励。大貫将慶選手（空手道・秋田市立城東中学校3年）が「競技力向上はもちろんのこと、生活面・学習面において強化選手としてふさわしい行動をとり、秋田県の枠を越え、日本を代表する選手となれるよう目標を高く持ち練習していきたい。そして、今このように競技を続けられるのは支えてくださる周りの方々のおかげだということを忘れず、感謝の気持ちを持ちこれから努力していきたい」と力強く決意表明した。

交付式の後、選手のメディカルチェックとして採血検査及びドクターによる身体検査が行われた。



堀井副知事より各競技代表者へ指定証交付



堀井副知事より激励の言葉



代表者決意表明 大貫将慶選手（空手道・秋田市立城東中3年）



メディカルチェック

インタビュー

水泳：赤間 彩生（山王中3年）と保護者

【選手】 バタフライを専門としているが、バタフライ以外も速いマイケル・フェルプスのような選手になりたい。練習に対する姿勢についても同選手がお手本、そんな人の目標になるような選手になりたい。

【母】 家族等サポートする側が食生活やメンタル的なことについて学べる機会があれば助かる。他競技の人との情報交換や交流に期待している。

フェンシング：藤井 凌大（山王中3年）と保護者

【選手】 太田雄貴選手のロンドン五輪で、最後の最後まで諦めないプレーに感動し、太田選手のようなプレイヤーになりたい。昨年全国中学校体育大会で3位に入賞したので、今年は優勝を目指したい。

【母】 昨年は海外遠征も経験させてもらい、その中でたくさん学ぶ機会があった。これからもこのような経験を活かして立派な選手、人間になって欲しい。

本制度は、将来全国規模の大会で上位入賞することができるよう、選手強化と競技力向上を目的としており、秋田県知事、県教育長、県体育協会会長の3者連名で指定するもので平成23年度から始めた。指定選手は、各競技団体が主催する合同練習・合宿や教育プログラム合宿（マナー・栄養指導、学習支援）への参加、医科学サポートなどを受けることができる。



平成26年度 秋田県中学生強化選手競技力向上研修



オリンピックの講話



メディアトレーニング



コミュニケーションプログラム



救急法

平成26年9月20日（土）から21日（日）の2日間にわたり、秋田市太平山自然学習センター「まんたらめ」において、今年度1回目の合宿研修が開催された。この研修は、全国規模の大会で上位入賞を目指すとともに、様々な分野の知識を得ることで、競技力及び社会性、人間性の向上に寄与することを目的としたもので、今回の研修には16競技88名の強化選手が参加した。

今回は、「オリンピックの講話」、「メディアトレーニング」、「コミュニケーション能力の高め方」、「救急法」、「効果的な学習方法」、「エクササイズ」、「パフォーマンスアップのコンディショニングづくり」、「アスリートとしての目標設定プログラム」の8つについて研修が行われ、競技の枠を越えて交流を深めるとともに、生活規範の改善を図るなど競技力向上に必要な資質を学んだ。

参加した選手からは、「自分の将来の夢、イメージを再確認するよい機会となった」、「もっと強化選手としての自覚を持ちたい」、「他の競技の人たちと交流できてよかった」などの感想があった。



学習プログラム



朝の散歩



ボディコンバット



コンディショニングプログラム



選手・保護者合同プログラム

参加した選手の感想

☆宮崎 海乃 (水泳)

たくさんの人が、私たちのためになる話をしてくれて、本当にありがたいと思った。県の代表としてふさわしい生活面や行動を心がけたい。今回学んだ事をいかしたい。

☆加藤 杏菜 (卓球)

2回目の参加、前回と違った企画があり勉強になった。他の選手との交流もあり、充実した2日間だった。

☆小野 真愛 (卓球)

高い人たちの抱っていた気持ち、感じたこと、オリンピックへの思いを聞いて、素晴らしい体験をした。学力アップのコツも聞けた、またしてほしいです。体を動かすのは楽しかったです。

☆加藤 礼彩 (バドミントン)

合宿で、感謝の心を忘れてはいけないと感じました。日常生活から改善しないと競技力が上がらないと言っていたので、基礎や当たり前のことは当たり前前やるということを出るようになりたいです。

☆田口 陽温 (バドミントン)

今回の研修を通して、コミュニケーションや、選ばれたという自覚、どうすればもっと上に行けるのか？という事を学びました。これをいかして、日常生活や部活の面でも頑張っていこうと思います。

☆高橋 大智 (柔道)

スポーツに大切なことをたくさん学べた。チームに帰って、チームの全員が強くなるように頑張りたい。

☆櫻田 香織 (柔道)

私たちが体験できないような事を聞いて、メンタル面で成長できたと思います。秋田県の強化選手として来ているんだという、自覚もしっかり持てました。自分の夢に対して、目標が生まれました。

☆児玉 真衣 (剣道)

今回の研修では、集中力が続かずだんだんだらけてきてしまうことがあったと思います。もっと自覚をもって参加したい。

☆三浦 悠人 (剣道)

初めは、話を聞くだけだと思っ少しつまらなそうだと思いましたが、実際、講師の方から話を聞くことすごくためになり、おもしろい話でした。今後にいかしたいです。

☆佐藤 涼華 (フェンシング)

途中からの参加だったけれど、貴重な体験ばかりだった。ここで過ごした時間、体験を「無駄だった」では、絶対に終わらせたくないの、これからの私生活、練習にいかしていきたい。

☆成田 航也 (フェンシング)

同班の人たちがうるさくて寝られなかった。音楽プレーヤーを持って来ている人がいた。その他プログラムは為になった。

【年間スケジュール】

6月29日(日)	第3回メディカルチェック	場所：キタス力(土崎)
9月20日(土)~21日(日)	競技力向上研修Ⅰ(合宿)	場所：まんたらめ
11月29日(土)	第4回メディカルチェック	場所：キタス力(土崎)
1月11日(日)~12日(月)	競技力向上研修Ⅱ(合宿)	場所：ユースパル
3月下旬(予定)	競技力向上研修Ⅲ	場所：調整中



指導者に聞く

県内の高校、中学校、小学校、スポーツ少年団等の指導者で、学校の先生以外の方で頑張っておられ、かつ好成績を残している方にスポットを当て、児童・生徒への独自の指導方法や経験などを取材した。他の同じような立場で指導している方の参考になればという企画です。

阿部 大造 (あべ だいぞう)

昭和38年9月生まれ

県立花輪高等学校で陸上競技部に所属しハンマー投を始め、インターハイで4位の成績を打ち立て、順天堂大学体育学部に入學。大学時代にも全日本インカレで5位に入賞するなどの活躍をし、千葉県に就職して9年後に県立能代工業高等学校の臨時講師として陸上競技部の監督となる。

インタビュアー：県体協競技スポーツ課長 笠井

笠井：そこで走幅跳の中嶋豊選手（現大館桂高等学校陸上競技部監督）に出会うんですね。

阿部：平成7年に能代工業高校に講師としてお世話になるんですが、その年3年生になった中嶋は前年に踏切脚の大腿四頭筋を筋断裂しており、5月の地区大会まで走れない状態でした。そんな中でもインターハイまで駒を進めましたが予選落ち。その悔しさをバネに国体では優勝を勝ち取りました。本人の努力はもちろん、当時の秋田陸協強化部跳躍主任コーチであり私の高校時代の恩師である高田勝彦先生の教えのおかげで全国制覇でした。

1年間の臨時講師を経て平成8年、現在の勤務先の東京美装興業(株)鹿角事業所に就職。平成17年から秋田陸上競技協会強化部投擲コーチとなり、平成20年に花輪高等学校陸上競技部投擲外部コーチとなって6年目。現在同校投擲ブロックには選手8名が在籍し、1年女子の小館充華が先日行われた東北選手権で4位。2年男子の柳原陵太がインターハイ出場。3年女子の田原智仁は昨年の日本ユース選手権で7位に入賞するなど、阿部コーチの専門種目であるハンマー投の選手の活躍が光る。

笠井：ハンマー投を専門とされていますが、同じ投擲の中でも、種目が違うと本当に同じ陸上競技なのか？と思うぐらい練習の方法や技術に大きな違いが出てきますよね。そんな中で円盤投の安保建吾選手（現東海大学3年）を指導していた時は苦勞もおありだったのでは？

阿部：投擲選手としては線が細く力のない選手でしたが、100mを11秒後半で走る強靱なバネを持っていました。高校初の全国大会である新潟国体(少年B)で優勝を果たし、2年の沖縄インターハイ、千葉国体で6位入賞と着実に全国制覇に向けて階段を登っていました。3年の県大会で当時の全国ランクトップの記録をマークして臨んだインターハイの最終予選となる東北大会でした。満を持して臨んだその日、1、2投目をまさかのファール。最後の3投目を前に本人からの「ターンをしないで（記録を残しに）行く」との申し出があり承諾しました。結果、向かい風にあおられてインターハイへの権利が獲れる6位入賞ラインに届かず万事休す。あの時、結果はどうあれ「フルターンで行け！」と強気の指示ができなかったことを今でも悔やみます。専門外の円盤投ということで、当時の秋田陸協強化部投擲主任コーチの三森達博先生（現小坂高等学校陸上競技部監督）から指導を仰ぎましたが、私自身正直なところ不安ばかりで、目の前にあったインターハイ優勝のチャンスを逃す結果となってしまいました。

笠井：大変な経験をされて現在に至っておりますが、また楽しみな田原選手が育ってますね。国体での活躍が大いに期待される場所ではありますが、普段どのような形で練習指導をしておられるのですか？

阿部：学校の練習には、毎週水曜日の勤務終了後と、仕事の休みが合えば極力外向くようにしてありますが、週に1〜2日顔を出すようにしています。

笠井：毎日練習に行けないなかで、独自に工夫している指導方法を教えてください。

阿部：試合の結果は練習で決まると思っていますので、可能な限り練習は見ます。でも、やっぱり試合の中の方が課題等見つけやすいですね。だから、どんなに遠くても試合会場へ足を運ぶようにしています。その中で、自分の動きや身体づくりに対して「考え・行動（練習）できる選手」を育てられればベストだと思います。

笠井：練習でも試合中でも、一投ごとに細かいアドバイスをされていますね。

阿部：ここは良い。でもここは〇〇だからダメ。そのためには〇〇なさい。という感じで具体的に伝えるようにしています。そこで、良い投げ（動き）を自分でできるようになればと思います。

笠井：実際に動きを自分で動いて見せるときもありますか。

阿部：年々厳しくなっていますが（笑）。あとは、「ブーン」「ブンツ」「ギュッ」「スパッ」とか擬音を多用します。あと、体のねじれとか感覚的な部分を伝えるのは難しいので、手取り取りで指導することもあります。

笠井：たくさんの選手を成功に導いてきていますが、秘訣ってなんですか。

阿部：試合においては、笑顔で「大丈夫」ってフィールドに送り出します。とにかく思い切って投げて欲しいから。最高の投げをすることだけに徹して欲しいですね。あとは、高校時代の恩師である高田勝彦先生の2つの教えですね。「伝えたことを選手が体得し、試合で表現できて初めて指導という」「敗軍の将、兵を語らず」負けたら全て指導者の責任。勝ち得た時の栄冠と賞賛は選手だけのもの。

笠井：最後に今後の目標なんですが、国体が間近に迫っている田原選手についてお願いします。

阿部：国体という大舞台で勝負をするためには、技術的なレベルアップが最重要課題です。投げの感覚的な「きっかけ」をつかめば大変身する要素を持っています。新たな取り組みにチャレンジすることを恐れず「やってみよう」という強い意志で国体までの毎日を過ごせるかで結果が大きく変わると信じています。

佐藤 拓 花輪高等学校陸上競技部監督より

日々ご多忙の中、投擲ブロックへのご指導を頂き、大変感謝致しております。

7年前、無理を承知で外部コーチのお願いにあがりました。即答はなく、「中途半端な気持ちを整理してから」という大造さんの熱い想いを感じ、その姿は今でも覚えています。引き続き、グローバル社会で活躍できる生徒へのご指導をよろしくお願い致します。





Go forward !!

県内の高校、中学、小学、スポーツ少年団等に在籍する選手で、全国大会で入賞が狙え、将来世界の舞台へ羽ばたく期待の星を紹介します。



田原 智仁 (たはら ともみ)

平成8年6月生まれ

小坂町立小坂小学校、小坂中学校を経て、県立花輪高等学校に在学

インタビュー：県体協競技スポーツ課長 笠井

笠井：現在ハンマー投を専門としていますが、女子のハンマー投は、なかなかいませんよね？何がきっかけで始めたんでしょうか？

田原：きっかけは阿部大造コーチからの一言でした。入学時は他の種目をやっていたのですが、話しの中で「ハンマーやってみないか？」と言われ、それから練習を開始しました。

笠井：あれ（ハンマーのヘッド部分）は4kgあるんですよね？女子からすれば十分重いと思いますが、大変じゃないですか？



田原：上体の使い方などに苦戦することがありますが、練習を繰り返していけば距離が出るようになります。ハンマー投は他の投擲競技よりも伸び率が高く、記録を一気に何メートルも伸ばすことも出来ますので、競技がとても楽しいです。

笠井：阿部コーチが見てくれるとき以外で独自に取り組んでいることはありますか？

田原：休日は、午前の全体練習後も学校に残り、ウエイトトレーニングや補強運動、技術練習を自主的に取り入れています。日常生活でも、良質な筋肉を作るために、栄養バランスを考えて毎日3食しっかり食べるよう努めています。競技者として体作りはとても重要だと認識しています。

笠井：将来の目標を聞かせてください。

田原：オリンピックに出場し、メダルを獲得するなどして日本中に笑顔を届けられるような選手になることが大きな夢です。その前にもっと女子のハンマー投の競技人口を増やしたいです。

笠井：女子ハンマー投はまだインターハイ種目になってませんからね。オリンピック種目なのにそれがインターハイ種目にならないうのは、オリンピックに向けたジュニア層の強化になってないですね。間近に迫っている長崎国体での目標と意気込みを聞かせてください。

田原：今までご指導くださった阿部コーチをはじめ、佐藤拓監督や両親に恩返しができるように優勝を目指して頑張ります。

佐藤 拓 花輪高等学校陸上競技部監督より

入学当初は、基礎体力も低く、大きなケガにも見舞われていたことを記憶しています。しかし、持ち前の負けず嫌いと練習に没頭できる精神から、心身共に大きく成長しました。長崎国体では、高校3年間の集大成として、持てる力を余すことなく発揮しましょう。頑張れ！！



強化拠点校紹介

秋田県立大曲農業高等学校

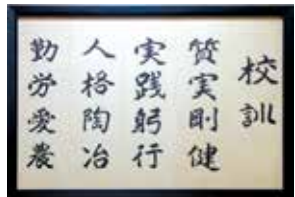
女子
ハンドボール部



学校紹介

1893年(明治26年)に秋田県尋常中学校(県立秋田高等学校)農業専修科として開校。農業クラブ(生徒会)活動が盛んで、大農祭では全校生徒が仮装して大曲の街を練り歩く「仮装行列」などの催し物が行なわれている。県立農業科学館と提携し、育てた胡蝶蘭の展覧会を開くなど、県民との交流にも積極的である。

平成24年度に創立120周年式典が挙行されて以来、新たなステージに向かって歩み始めている。平成26年度に新校舎の改築工事が始まり、新温室棟等を建設するとともに、既存の旧校舎を使用したままで、旧校舎の南側に新校舎を建設。完成は平成28年3月の予定。



校章は「農に稲穂」で明治37年大曲への移転を機会に、生徒から図案を募り、農の字を真中に稲と麦を抱き合わせたものが採用された。その後、稲と麦では釣り合いがとれないところから稲穂だけの抱合せとなり現在に至っている。

国の基である農と瑞穂の国を象徴とする稲を組み合わせたものである。秋田県の基幹産業である稲作農業を大切に、勉学に励むことが当時県下唯一の農業学校の使命と誇りであると考え、表現したと言われている。



チーム紹介

今年は1年生7名、2年生8名、3年生8名で藤田優子をキャプテンとして活動してきた。2月には東北選抜を2位で通過し、全国選抜大会に出場したものの京都洛北に僅差で敗れた。その悔しさを胸に刻み勝負したインターハイでは、1・2回戦を突破し3回戦は昨年優勝の高松商業と対戦することができた。現在は長崎国体の初戦(インターハイ優勝の東京)に向けて毎日練習に励んでいる。3年生にとっては最後の試合となる国体で県代表の意地を見せたい。



監督紹介



- 山本 力
- 平成11年～19年 羽後高等学校男子ハンドボール部 監督
- 平成19年 秋田わか杉国体 少年男子 監督
- 平成20年 大曲農業高等学校女子ハンドボール部 監督

過去には全国大会の舞台で準優勝という実績もあり、選手に望む要求も自然に高くなる。しかし、近隣の中学校にはハンドボールのチームが無く、バスケットやバレーの経験者でチームを作っているのが現状。素人集団で一から指導するということがかなりネックになると最初は感じていたが、徐々に試合で勝てるようになるにつれて不安要素は消えていった。しかし、全国の上位レベルにはまだ遠く、練習内容を考えて頭を悩ます日々も多い。走・跳・投を兼ね備えた競技を追求しながらも、一人の人間として自分の考え方をしっかりと持ち、他者から親しまれる人材に成長してほしいと願っている。





キャプテン・マネージャーコメント



キャプテン 藤田 優子 (ふじた ゆうこ) 3年

私たちは選手22人中21人が高校からハンドボールを始めました。全国大会での上位進出を目指し、日々の練習に励んでいます。私たちの代になってからは、全国選抜大会、東北高校選手権、インターハイ等で試合をすることができ、多くの経験を積むことができました。ハンドボールを通じて、試合に勝つことだけでなく、人としてどうあるべきかを学んでいます。すばらしい環境で練習できることや、指導していただいている先生に感謝しながら、先輩たちが築きあげてきた大農ハンドボールを継承していきたいと思っています。



目標：3年生としての最後の公式戦（長崎国体）で初戦突破できるように、今まで練習してきた内容を出し切る。



マネージャー 松川 晃実 (まつかわ あきみ) 2年

去年の9月に入部しマネージャーとして活動しています。部活動中は一人一人がハードな練習に一生懸命取り組んでいます。強くなるために本気で接しているため、仲間のプレーに注文をつける時にはきつい言い方になり、怖いと感じることもあります。しかし、選手がそれぞれ自分の役割を考えて練習しています。もうすぐ3年生最後の大会である国体があり、直後には新人戦が控えています。選手たちがよいプレーができるよう、支えていきたいと思っています。

目標：新人戦で優勝を狙うことです。



〈充実したトレーニングスペース〉



〈練習後の入念なストレッチ〉



〈練習道具はきれいに整理〉

年間スケジュール

- 5月 県外遠征、県南総体
- 6月 全県総体、東北高校選手権
- 7月 県民体育大会
- 8月 インターハイ、東北総合体育大会
- 10月 県南新人
- 11月 秋田県総合選手権、全県新人
- 12月 東北総合選手権、県外遠征
- 1月 県外遠征、東北選抜秋田県決勝大会
- 2月 東北選抜
- 3月 全国選抜

練習メニュー

- 月曜日 ウェイトトレーニング
- 火曜日 通常練習
- 水曜日 フットワーク、ゴールキーパー練習、シュート練習、攻防練習、ゲーム
- 金曜日
- 土曜日 練習試合 等
- 日曜日
- 祝日



強化拠点校紹介

秋田県立湯沢高等学校

男子
ハンドボール部



学校紹介



校章

「よく学びよく遊べ。」
「互いの意見を尊重せよ。」
「真実を尊び正しく歩め。」
「報恩の誠をいたせ。」

校訓

でも男子ハンドボール部は全国制覇を成し遂げたことがある。同校の「建学のころ」は「師弟共励」で、生徒と教師が共に努力し高め合える学校づくりを目指している。

旧制「秋田県立湯沢中学校」を前身とする高等学校で、地域を代表する進学校であり、同市には湯沢高等学校稲川分校を有する。

校章は、雄勝野を流れる大河川の合流するところと、湯沢（YUZAWA）のYに、千古に頂く鳥海の白雪の結晶を模したものである。部活動では陸上競技部、男女ハンドボール部が東北大会、全国大会出場を果たしており、なか

師弟共励

建学のころ

チーム紹介

昭和46年、愛媛県松山市で開催されたインターハイで全国制覇を達成し、翌47年には準優勝。48、49年には3位という成績を残している。このほかにも国体等での活躍を含めた同校は「東北の雄」と言わしめるまでに、その実力が全国でも評価されていた。近年では平成19年の秋田わか杉国体で、少年男子が第3位という成績をあげている。今年度は2年ぶりにインターハイに出場し、関東の強豪チームとの差を肌で感じることで、新チームが成長する上で必要な要素を感じ取ることができた。現在は新チームとしての活動を開始しているが、ハンドボールに必要な「走る・跳ぶ・投げる・コンタクトする」の出力向上の土台を作るために日々徹底した基礎的なトレーニングを実施している。



県内のタイトルをすべて獲得



インターハイでの優勝

キャプテンコメント



キャプテン 高橋 敦 樹 (たかはし あつき) 3年

インターハイに出場し、一つでも多く勝ち進むことを目標に3年間チーム一丸となって努力を続けてきました。昨年はインターハイに出場することができず悔しい思いをしたので、最後のインターハイに必ず出場するために厳しい練習に取り組んできました。全県総体では自分たちが取り組んできた「堅守速攻」のスタイルを最後まで貫き、インターハイ出場権を勝ち取ることができました。インターハイでは初戦敗退となりましたが、自分たちがやってきたことに自信を持つことができました。

後輩には新たな目標を持ち、その目標に向かって妥協することなく精一杯頑張ってほしいと思います。



監督・テクニカルアドバイザー紹介



監督 萩田 圭 (おぎた けい)

湯沢高校に赴任し2年目となりますが、歴史と伝統のあるチームで、生徒を成長させるために何が必要かを日々考えながら指導にあたっています。「心・技・体」スポーツに必要な三要素がありますが、この中でも「心」の部分がスポーツをする上で重要だと考えます。選手には日頃からの生活態度や、整容面、大きな声で挨拶する、返事をするなど当たり前のことが当たり前できるようにしてもらいたいです。この部分が疎かになると、大事な試合の局面で声を出せなかったり、消極的なプレーにつながったりと「技・体」の部分にも影響を及ぼすからです。チームの目標は、「日本一」です。言葉で言うのは簡単ですが、選手も我々指導者も学ぶことを止めたなら成長することはできないと考えます。全国の強豪チームに近づき、追い越すためにも日々の練習を大事にしながらい目標に向かって取り組んでいきたいと思っています。



- ポジション ゴールキーパー
- 競技歴 湯沢高校→日本体育大学→大同特殊鋼ハンドボール部(11年)
日本代表 (JOC認定 オリンピック強化指定選手)
- 競技成績 湯沢高校 ・インターハイ出場
日本体育大学 ・インカレ 優勝2回、準優勝2回
大同特殊鋼 ・全日本実業団ハンドボール選手権 優勝4回
・国民体育大会 優勝1回
・全日本総合ハンドボール選手権 優勝5回
・日本ハンドボールリーグプレーオフ 優勝3回
- 日本代表 ・世界選手権予選出場
・東アジア大会出場
・他国際大会出場



テクニカルアドバイザー 東海林 智 (しょうじ さとし)

今年で指導2年目になりました。今年はインターハイに出場することができて選手達にとっても、私自身にとっても良い経験となりました。

新チームは全国優勝を目標に、今は基礎練習や体幹トレーニングをしています。これから技術指導をしていくことはもちろんですが、遠征等をしていく中で経験を積み、自信をつける指導を選手と一緒に頑張っていきます。

- ポジション センタープレイヤーおよびサイドプレイヤー
- 競技歴 湯沢市ハンドボールスポーツ少年団→湯沢南中学校→湯沢高校→日本体育大学(2年時のインカレでは優勝に大きく貢献し、チーム最多得点)
- 競技成績 湯沢高校 ・インターハイ出場(3回)
・秋田わか杉国体少年男子の部 第3位
日本体育大学 ・インカレ 優勝3回、準優勝1回
HC秋田(秋田県国体強化チーム) 国体出場 4回



新チームメンバー紹介



進藤 太賀 (しんどう たいが) 2年:主将

出身校:湯沢南中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○これからもチーム力を上げるために頑張ります。シュート確率と体力を上げ、誰にも負けないプレイヤーになります。
■座右の銘 百戦錬磨



大日向一哉 (おおひなた かずや) 2年:副主将

出身校:羽後中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○ロングシュートの精度を上げて、シュート確率を向上させる。個人プレーにならないようにチーム一丸となって頑張ります!
■座右の銘 疾風迅雷



藤原 優汰 (ふじわら ゆうた) 2年

出身校:湯沢南中学校(中学時所属:野球部)
○ジャンプ力と持久力をつけて、正確にシュートを決められるようにチーム一丸となって勝てるように頑張ります。
■座右の銘 文武両道



瀬川 来 (せがわ らい) 2年

出身校:湯沢北中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○シュート決定率を向上させ、チーム力を上げられるように一生懸命に練習に取り組めます!
■座右の銘 一生懸命



菊地 大地 (きくち だいち) 2年

出身校:雄勝中学校(中学時所属:野球部)
○試合の流れをチームに引き寄せることができるゴールキーパーになる。
■座右の銘 人事を尽くして天命を待つ



藤井 諒 (ふじい りょう) 1年

出身校:湯沢南中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○練習にしっかりと取り組み、自分のプレーを一つ一つ大切にしていく。目標はインターハイに出場し、日本一になること!
■座右の銘 一意専心



松井 貴則 (まつい あつり) 1年

出身校:羽後中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○とにかくディフェンスを頑張る、チームのために全力で頑張ります!
■座右の銘 日進月歩



佐藤 駿 (さとう しゅん) 1年

出身校:羽後中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○チームのために必至に頑張るので、ご指導宜しくお願いします。日頃の練習から大会を意識したプレーをしていきたい。
■座右の銘 禍福は叫べる縄のごとし



山元 将崇 (やまもと まさたか) 1年

出身校:湯沢北中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○毎日、成長し続けたいと考えています。その為にも自分の意志をしっかりと先生に伝え頑張ります。練習を信じ、自分に妥協せず努力を重ねて日本一のゴールキーパー目指して頑張ります。
■座右の銘 打倒!興南!!



米山 侑臣 (よねやま ゆうしん) 1年

出身校:羽後中学校(中学時所属:ハンドボール部)
○まだまだ精神的にも肉体的にも弱いですが、周りにも気を配り、全力を尽くして頑張りますので、宜しくお願いします。
■座右の銘 一所懸命





Go for it!!! 秋田県ライフル射撃協会Ver.~普及~

ここでは、その種目の一番を目指して頑張っている選手や競技団体を紹介するとともに、その競技の普及を図り、競技人口を増やすことによって強化する目的を持った企画である。

【ライフル競技】

エアライフル



オリンピックにおいては1896年に開かれた第1回アテネ五輪から正式種目として行われ陸上競技に次ぐ参加国数で、世界では大変古く盛んなスポーツの一つ。身体的な要素はもちろんメンタルの強さが求められるスポーツの代表的な競技です。標的の的中点を競い、銃種・射距離姿勢・弾数などで様々な種目があります。

日本では、現在約1万人が射撃スポーツを楽しんでおり、高校生や大学生、社会人、さらにはそれ程体力を要しないことから高齢になっても競技が可能です。ビームライフル銃を使った競技では年齢の制限は全くありません。



ビームライフル



ビームピストル 立射



スモールボア・ライフル 膝射



エアライフル 立射



銃の種類

スモールボア・ライフル

エアピストル

エアライフル

ビームピストル



【キーパーソンに聞く!!】

秋田県ライフル射撃協会 会長

伊藤 昭 (いとう あきら) 氏 ~

普及活動の場を自らの脚で開拓し、年々着実に競技者を増やす。地道な活動を堅実に推し進めるその熱意に今では沢山の子供たちの笑顔と真剣な眼差しが育まれている。



《毎週行う定期講習会》

【普及にまつわるエピソード】 Q. 活動に至った経緯や、どういった所を対象にまわったか教えてください。

普及の必要性を感じたのは、秋田国体の直後です。ライフル射撃競技を知っている人がほとんどいない現実を知らされました。高校射撃部の創設が実現しなかったことから、結局、地道に普及活動をする中で、有望選手を発掘するしかないと考え、平成20年9月からサンパル秋田を会場に月2回の「ビームライフル・ピストル教室」を続けました。2時間の間、一人も参加者が来なかったこともあります。現在は、遊学舎で行っていますが、1回15~20人の参加者があり、競技大会に出る小・中学生も増えてきています。

このほか、こどもの日、体育の日などのイベントのほか、児童館等における体験会も続けています(平成25年度 教室24回、体験会24回、延べ体験者1,358人)。

【今後の展望(策略)】 Q. 成果が見えてきた今、今後の仕掛け等次のステップを教えてください。

教室の常連から国体出場者も出てきているほか、ビームピストルからエアピストルに移行する高校生が4人になろうとしています。また、昨年度から始まった全日本小学生・中学生ライフル射撃選手権大会では、連続してメダルを獲得しました(昨年金メダル2個、銀メダル1個。本年金メダル3個、銀メダル1個、4位入賞1人)。

この勢いを伸ばすため、現在、毎週水曜日に行っているジュニアを対象とした強化練習会を継続するとともに、日本ライフル射撃協会がMPA事業として行うジュニア合宿に積極的に参加させ、レベルの向上を図っていきたく取り組んでいます。

【ベテラン選手&期待の選手】



【渋谷 志 選手(55歳)】

- ▷ 第62回秋田国体 50m P 60m 優勝
- ▷ 第63回大分国体 同 4位
- ▷ 第66回山口国体 10m P 60m 優勝



【高橋 駿平 選手(17歳)】

- ▷ 第66回山口国体 B P D S 40 準優勝
- ▷ 第67回岐阜国体 同 4位
- ▷ H25全日本ライフル射撃選手権大会 B P D S 40 優勝
- ▷ H26 同 準優勝
- ▷ H25ユースオリンピックフェスティバル(シドニー) A P 60m 8位入賞



(ビームライフル・ピストル教室)



スポーツ立県あきた応援事業「世界へ羽ばたけ！秋田のスポーツ講演会」



平成26年6月20日（金）、株式会社秋田さきがけ新報社（さきがけホール）において県体育協会主催「世界へ羽ばたけ！秋田のスポーツ講演会」を開催した。講師として、コーチング学やスポーツ情報戦略を専門とし、JOCの本部役員として数々の国際大会に帯同している勝田隆氏、スキー・ノルディック複合選手として、ソルトレイクシティ、トリノ、バンクーバーオリンピックに3大会連続出場を果たした小林範仁氏、ラグビー選手として大学選手権3連覇、監督として日本選手権2連覇の快挙を達成したサントリーフーズ株式会社代表取締役社長の土田雅人氏、コーディネーターとして元プロ野球選手で、プロ野球史上20人目となる公式戦初打席でホームランを放った青島健太氏が、「これからの次代に求められる指導者とは」～スポーツと一緒に秋田の未来を創る～をテーマに、それぞれの想いを参加者に伝えた。



講師 勝田 隆氏
日本スポーツ振興センター
スポーツ開発事業推進部長
埼玉県生まれ

「ピンチをチャンスに変えるということが指導者にとって最も大事なことで、真価が問われることになる。スポーツは社会の中で行われる営みであり、選手や指導者は多くの人々に影響を与えていることの重みを感じなければならない」と指摘し、「秋田には名将がたくさんいるので、財産としてしっかり検証し、次の指導者が恒常的に出てくるように何が必要なのかを考えるべきである」と訴えた他、「2020年の東京オリンピック・パラリンピックに選手としてだけでなく、ボランティア等の支える側としても多くの秋田県民に関わってほしい」と述べた。

「秋田は素晴らしい環境、良い指導者に恵まれている。結果を出せるかどうかは自分自身にかかっている。練習は絶対に裏切らないし、人に勝ちたいれば人と違うことをしなければならない。そのためには自分に何が必要で、何を練習すべきかを指導者としっかりと話し合っていけば、自ずと結果は付いてくるはずである。2020年の東京オリンピックには秋田県出身の選手が多く出場してほしい」とエールを送った。



講師 小林 範仁氏
秋田テレビ株式会社
大阪支社
北秋田市生まれ



講師 土田 雅人氏
サントリーフーズ株式会社
代表取締役社長
秋田市生まれ

「監督としては性格が良く、チームワークを乱さない選手を使いたがるが、一つ上のレベルに到達したり、世界で勝つチームを作るには、個性の強い選手を使いこなさなければならないし、継続して勝てるチームを作るには、チームの型（確固したスタイル）を確立することが必要だと感じる」と述べた他、「日本で最も高齢化が進んでいるとされている秋田県だからこそ、若い指導者を育成したり、地域密着でスポーツを支える人を育てていかなければならない。秋田には全国に先駆けたモデル県になってほしい」と訴えた。

アップル社の共同創設者であり、この世の中の価値観、新しいものを発明しているスティーブ・ジョブズ氏が「ステイ・ハングリー」と言ったことが印象的である。私の解釈としては、「貪欲な好奇心」、「飽くなき興味」ということではないかと思う。興味や欲求があれば向上するし、新しいものに出会える。秋田からたくさん素晴らしい選手や指導者が輩出されているのは、その方々がハングリー精神をもっていたからだと思う。今後も皆さんが抱えているハングリーを大事にし、もっといいものを目指す意気込みで、更に前に進むスポーツ文化・環境をつくってほしい」とまとめた。



モデレーター 青島 健太氏
スポーツライター
キャスター
新潟県生まれ



第18回 日韓青少年夏季スポーツ交流事業

本事業は、2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催を記念する事業として、スポーツを通じて両国の親善と友好をより一層深めようと開始されました。両国のスポーツの振興と競技力向上を図るとともに、次代を担う日韓の青少年が互いの国を訪問しあいスポーツを中心とした様々な交流を行うことにより友情を育み、文化や社会状況に理解を深めることを目的として、日本体育協会が実施している事業です。

今年度は、秋田県体育協会が委託を受け、受入・派遣事業を実施しました。

受 入

- ・受入期間 平成26年8月16日(土)～22日(金) 7日間
- ・受入先 秋田県 秋田市・潟上市
- ・受入競技 サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン
- ・参加者数 秋田県213名(選手182名、指導者25名、本部役員6名)
韓 国210名(選手176名、指導者26名、本部役員8名)



『たくさんの人に支えられて』 バドミントン 佐々木 ひなの (由利本荘市立東由利中学校3年)

今回は昨年に続き、私にとって二度目の日韓交流となり、韓国の選手から多くのことを学ぶことができました。一つ目は言葉や環境、食べ物など様々なものが異なるのに対し、韓国の選手は決して動じず対応していたことです。二つ目は試合において、どんなに点数が離れても諦めずに食らいついてくるチャレンジ精神、監督からアドバイスを受けるとすぐに試合で生かそうとする一生懸命な姿勢に感動しました。その他にも普段は家族に任せっきりの洗濯も今回は自分で手洗いし、干すことで、改めて家族に感謝しなければならぬと思いました。最後に、二度も日韓交流に参加できたのはたくさんの方々のおかげがあったからこそですので、感謝の気持ちでいっぱいです。

派 遣

- ・派遣期間 平成26年8月16日(土)～22日(金) 7日間
- ・派遣先 大韓民国 全羅北道・全州市
- ・派遣競技 サッカー、バレーボール
- ・参加者数 秋田県 97名(選手 85名、指導者10名、本部役員2名)
韓 国218名(選手184名、指導者26名、本部役員8名)



『誇りを胸に』 バレーボール 赤川 育也 (横手市立大森小学校6年)

日の丸を背負うことで「自分勝手な行動はしない」、「自分のことは自分でする」という緊張感をもって過ごすことができた。自分で洗濯する機会もあり、家族のありがたさを感じることもできた。「日韓交流のキャプテンとして立派に使命を果たしました。誇りを胸にこれからも頑張れ！」と赤川監督からの言葉を胸に、今回学んできたことを仲間を広げ、これからも自分を高められるように頑張りたい。



県体協事務局だより

平成26年度（公財）秋田県体育協会スタッフ紹介

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内

■常勤理事

専務理事	片野 裕
------	------

■事務局

事務局長	佐藤 重満
------	-------

■総務課

課長	小笠原 聖
係長	森田 佳子
主任	久米 克弥
職員	富田 由紀子
職員	佐藤 隆子
職員	富樫 則子

TEL 018-864-8090

■競技スポーツ課

課長	笠井 猛
強化専門員	伊藤 栄悦
強化専門員	新林 美保
強化専門員	安田 竜
職員	進藤 恭孝
ジュニア育成アドバイザー	松本 宗也
ジュニア育成アドバイザー	原文 俊

TEL 018-864-8091

■生涯スポーツ課

課長兼スポーツ少年団長	伊藤 知至
クラブアドバイザー	田中 忠夫
職員	斎藤 篤子

TEL 018-864-8094

■スポーツ少年団室

職員	富樫 恵子
職員	二階堂 直子

TEL 018-866-3916

■テクニカルアドバイザー

カヌー	佐々木 翼
レスリング	宮原 崇
スキー	松橋 幸也
フェンシング	工藤 伸也
レスリング	利部 裕
剣道	渡邊 龍二郎
バレーボール	眞田 辰弥
ラグビー	小川 知樹
サッカー	富樫 豪
ハンドボール	東海林 智
ラグビー	トゥクフカ・トネ

FAX 018-864-5752

ホームページアドレス

<http://www.akitaikyo.or.jp>

会議録（抄）

3月27日 平成25年度 第7回臨時理事会

- ・業務執行理事の業務報告について
- ・平成25年度寄付金申込み状況について
- ・加盟団体に対する是正勧告について
- ・事務局長の選任について

3月27日 平成25年度 臨時評議員会

- ・平成26年度事業計画（案）について
- ・平成26年度当初予算（案）について
- ・役員等推薦委員会委員の選任について

4月10日 第1回強化委員会

- ・平成26年度行事予定について
- ・平成26年度強化計画について
- ・秋田県高等学校強化拠点校について
- ・強化拠点校の下宿サポートについて
- ・テクニカルアドバイザーについて

4月21日 第1回事業委員会

- ・平成26年度事業計画（案）について
- ①寄付金の募集について
- ②スポーツ立県あきた応援事業について
- ・講演会について
- ・第3回チャリティーゴルフコンペについて
- ・「スパッキー」関連について

4月25日 第1回総務委員会

- ・不適正な経理処理の未然防止対策等について
- ・第1回臨時理事会の議案について

4月25日 第1回臨時理事会

- ・加盟団体に対する是正指導及び是正勧告に対する改善計画等の状況について
- ・公益法人の運営組織及び事業活動の状況の報告について
- ・相談役の推挙（案）について

5月20日 秋田県体育協会 会計監査

5月20日 第1回審査委員会

- ・競技団体の脱退、加盟について
- ・秋田県スポーツ賞表彰授与基準「別表」の改正について

5月23日 加盟団体事務局長会議

- ・平成26年度事業計画について
- ・平成26年度主要行事予定について
- ・選手強化対策費補助金等の適正な執行について
- ・不適正な経理処理の未然防止対策等について
- ・公益財団法人秋田県体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドラインについて
- ・公益財団法人秋田県体育協会加盟団体規程の一部改正について
- ・加盟団体の提出書類、分担金、交付金及び大会参加料について
- ・賛助会員制度及び寄附金について
- ・スパッキーグッズの販売について
- ・スポーツ安全協会の保険加入について

- ・第65回県民体育大会について
- ・天皇杯20位台を目指した決意集会について
- ・秋田県スポーツ賞の推薦について
- ・平成26年度スポーツ指導者養成講習会等について
- ・総合型地域スポーツクラブの育成状況について
- ・チャレンジデーについて
- ・コミュニティチャンネルを活用したスポーツ放映について
- ・国体・東北ブロック大会参加申込等について

5月29日 評議員選定委員会

5月30日 第2回総務委員会

- ・第1回定例理事会の議案について

5月30日 第1回定例理事会

- ・評議員の選任について
- ・是正勧告事項の改善計画について
- ・日韓青少年夏季スポーツ交流事業について
- ・平成25年度事業報告（案）について
- ・平成25年度決算報告書（案）について
- ・競技団体の加盟（案）について
- ・加盟団体の脱退（案）について
- ・定款の一部改正（案）について
- ・理事候補者の推薦（案）について
- ・定時評議員会の招集について
- ・特別功績者表彰について

6月9日 第1回指導者育成委員会

- ・平成26年度秋田県スポーツ指導者協議会計画について
- ・平成26年度第1回秋田県スポーツ指導者研修会について
- ・公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰について

6月18日 役員等推薦委員会

6月18日 第2回強化委員会

- ・秋田県高等学校強化拠点校について
- ・強化拠点校の下宿サポートについて
- ・テクニカルアドバイザーについて
- ・第6期秋田県中学生強化選手について
- ・平成26年度秋田県高等学校強化拠点校監督・指導者研修会について

6月23日 定時評議員会

- ・評議員の選任について
- ・相談役の就任について
- ・平成25年度事業報告（案）について
- ・平成25年度決算報告書（案）について
- ・競技団体の加盟（案）について
- ・加盟団体の脱退（案）について
- ・定款の一部改正（案）について
- ・理事、監事の選任（案）について

6月23日 第2回臨時理事会

- ・役員等推薦委員会委員の選任（案）について

- ・寄附金の受領について
- 7月7日 第1回広報委員会
 - ・広報活動の基本方針について
 - ・具体的な取り組みについて
 - ①情報誌「スポーツ秋田」の発行
 - ②ホームページによる広報
 - ③メディアの活用による広報
 - ④団体協100周年を見据えた対応
- 7月28日 第1回スポーツ医・科学委員会
 - ・平成26年度の主な事業と年間計画について
 - ・国体期間中におけるドーピング検査報告システムについて
 - ・日体協公認スポーツドクター・A T 養成講習会受講者について
 - ・秋田県中学生強化選手メディカルチェックについて
 - ・国体帯同ドクターについて
 - ・ドーピング防止教育・啓発事業の講師について
 - ・秋田県中学生強化選手手帳（仮名）の内容について
- 7月31日 第3回総務委員会
 - ・第3回臨時理事会の議案について
- 7月31日 第3回臨時理事会
 - ・秋田県への要望書（案）について
 - ・第41回東北総合体育大会秋田県選手団本部役員等について
 - ・第18回日韓青少年夏季スポーツ交流事業について
- 8月27日 第3回強化委員会
 - ・競技力向上推進計画（案）の策定について
 - ・秋田県高等学校強化拠点校制度について
 - ・南関東インターハイ・東北総体結果（途中報告）について
- 8月29日 評議員選定委員会
- 9月2日 第4回総務委員会
 - ・第2回定例理事会の議案について
- 9月2日 第2回定例理事会
 - ・業務執行理事の業務報告について
 - ・評議員の選任について
 - ・インターハイ、東北総合体育大会の結果について
 - ・寄付金の申込み状況について
 - ・平成26年度東北総合体育大会功労者表彰について
 - ・加盟団体に対する是正指導、是正勧告に対する改善等について
 - ・「秋田県スポーツ賞表彰授与基準」の一部改正について
 - ・「秋田県高等学校強化拠点校の指定等に関する要項」の改正に係る検討状況について
 - ・競技力向上推進計画（案）について
 - ・第69回国民体育大会秋田県選手団本部役員（案）について



平成26年度(公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ 御協力ありがとうございます ～

県体育協会の賛助会員として、事業推進に御協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

[法人会員]

- | | | |
|--------------------|---------------------|----------------------|
| 秋田いすゞ自動車株式会社 | 株式会社エフエム秋田 | タプロス株式会社 |
| 秋田運送株式会社 | 大塚製薬株式会社秋田出張所 | 千代田興業株式会社 |
| 株式会社秋田温泉さとみ | 奥羽電気設備株式会社 | 辻不動産株式会社 |
| 秋田空港ターミナルビル株式会社 | 奥山ボーリング株式会社 | 東亜道路工業株式会社秋田営業所 |
| 株式会社秋田ケーブルテレビ | 医療法人回生会秋田回生会病院 | 東北環境管理株式会社 |
| 一般社団法人秋田県建設業協会 | 株式会社鹿角パークホテル | 株式会社東北ビルカンリ・システムズ |
| 一般社団法人秋田県サッカー協会 | 清三屋商事株式会社 | 東北森永乳業株式会社秋田工場 |
| 一般社団法人秋田県歯科医師会 | 医療法人久幸会 | 中田建設株式会社 |
| 秋田県柔道連盟 | 株式会社黒澤塗装工業 | 株式会社NIPPO秋田統括事業所 |
| 一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会 | 医療法人慧眞会 | ニプロ株式会社大館工場 |
| 秋田県少林寺拳法連盟 | 医療法人弘仁会島田病院 | 日本精機株式会社 |
| 秋田県信用保証協会 | 株式会社光輪技研 | 日本電機興業株式会社 |
| 一般社団法人秋田県ハイヤー協会 | コクヨ東北販売株式会社秋田支店 | ネットヨタ秋田株式会社 |
| 公益社団法人秋田県バス協会 | コマツ秋田株式会社 | 株式会社八郎潟印刷 |
| 秋田県バドミントン協会 | 有限会社佐々木製作所 | 船川臨港運送株式会社 |
| 秋田県武術太極拳連盟 | 有限会社佐藤養助商店 | 文化シャッター秋田販売株式会社 |
| 秋田県木材産業協同組合連合会 | 株式会社サノ・ファーマシー | 堀江建材株式会社 |
| 一般社団法人秋田県薬剤師会 | 猿田興業株式会社 | 株式会社本間 |
| 秋田魁会 | 医療法人慈心会寺田内科医院 | 株式会社丸臣高久建設 |
| 秋田指月株式会社 | 白神森林組合 | みちのくキャンティーン株式会社秋田営業所 |
| 秋田白玉工業株式会社 | 有限会社すぐる不動産 | 名鉄観光サービス株式会社秋田支店 |
| 秋田信用金庫 | 社会医療法人青嵐会 | 社会医療法人明和会 |
| 秋田ステーションビル株式会社 | 全国農業協同組合連合会秋田県本部 | 株式会社ユアテック秋田支社 |
| 秋田ゼロックス株式会社 | 創和技術株式会社 | 株式会社友愛ビルサービス |
| 秋田ホーチキ株式会社 | 株式会社大同観光 | 有限会社雄駿 |
| 株式会社アテック | 大堂電機自動車工業株式会社 | 由利工業株式会社 |
| 石垣鐵工株式会社 | ダイドードリンコ株式会社東北第一営業部 | 臨海碎石株式会社 |
| 伊藤建設工業株式会社 | 盛岡オフィス秋田駐在 | 株式会社ルーラル大潟 |
| 羽後電設工業株式会社 | 太平山観光開発株式会社 | わかみハート薬局 |
| A K T秋田テレビ | 株式会社竹半 | |

[個人会員]

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 秋元 昌貴 | 尾形 隆 | 齋藤 栄一 | 滑川 利生 | 細谷孝二郎 | 渡部 聡 |
| 安藤 進 | 金子 良雄 | 佐藤卯兵衛 | 奈良 正人 | 宮田 正尠 | 渡辺 正典 |
| 池田 正 | 熊谷金次郎 | 佐藤 有一 | 西村 悦子 | 茂木 秀悦 | |
| 伊勢 準造 | 児玉 要 | 中村 六郎 | 半田 祐毅 | 米塚善之助 | |

※あいうえお順 ※8月末受けまで



私たちは「スポーツ立県あきた」を応援しています

【法人・団体】

株式会社アールシー・テック
 株式会社アイセス
 株式会社アイネックス
 秋田活版印刷株式会社
 秋田共立株式会社
 株式会社秋田銀行
 株式会社秋田グランドリース
 株式会社秋田ケーブルテレビ
 秋田県建設機械レンタル協会
 秋田県剣道連盟
 秋田県厚生農業協同組合連合会
 秋田県信用組合
 秋田県石油商業協同組合
 秋田県農業協同組合中央会
 株式会社秋田国際カード
 株式会社秋田ジェーシーピーカード
 秋田車体株式会社
 秋田信用金庫
 秋田ゼロックス株式会社
 株式会社秋田中央機工
 秋田電話工業株式会社
 秋田プロバスケットボールクラブ株式会社
 秋田瀝青建設株式会社
 株式会社アクアス
 株式会社安藤醸造
 有限会社碓谷建設
 羽後日産モーター株式会社秋田店
 A K T秋田テレビ
 A B S秋田放送
 N K東日本株式会社
 N P O秋田R G愛好会
 有限会社エンドウ
 有限会社奥州食品
 株式会社男鹿興業社
 株式会社寒風
 株式会社北日本ベストサポート
 キャタピラー東北株式会社秋田営業所
 株式会社グレイスランド

医療法人敬徳会藤原記念病院
 厚生ビル管理株式会社
 医療法人光智会
 株式会社光風舎
 有限会社小西タイヤ
 コマツ秋田株式会社
 株式会社サキガケ・アド・ブレーン
 株式会社さきがけ折込センター
 株式会社さきがけプラスA
 有限会社佐藤養助商店
 株式会社サノ・ホールディングス
 株式会社沢木組
 有限会社三協商事
 三和興業株式会社
 株式会社ジェイエー秋田葬祭センター
 株式会社清水組
 医療法人社団柔心会
 有限会社俊光建機
 株式会社荘内銀行秋田支店
 新あきた農業協同組合
 株式会社スーパートゥデイ
 株式会社菅与組
 医療法人正和会南秋田整形外科医院
 有限会社石心
 株式会社セコー
 全国共済農業協同組合連合会秋田県本部
 太平興業株式会社秋田支店
 株式会社大雄建設
 タプロス株式会社
 株式会社テーエムシー
 東京美装興業株式会社鹿角事業所
 株式会社トーセン秋田営業所
 東北通商株式会社
 株式会社東北ビルカンリ・システムズ
 東立有限会社
 DOWAホールディングス株式会社
 中田建設株式会社
 株式会社仲村保険サービス

西村土建株式会社
 株式会社NIPPO秋田統括事業所
 長谷川体育施設株式会社秋田営業所
 株式会社八郎潟印刷
 有限会社P A T E K
 花岡土建株式会社
 ハラダ製茶株式会社
 株式会社備品レンタルセンター
 有限会社深沢電装
 株式会社福井
 有限会社ふじエンタープライズ
 株式会社藤通商
 株式会社フローリスト春花
 有限会社ぶんねん自動車
 ベストトラベル大曲営業所
 有限会社ベストモータース
 株式会社北都銀行
 堀江建材株式会社
 ホワイト歯科医院
 マルト建設株式会社
 有限会社丸ノ内サービス
 みちのくキャンティーン株式会社秋田営業所
 みちのくコカ・コーポリング株式会社秋田営業部
 三ツ星館
 三本コーヒー株式会社秋田支店
 むつみ建設株式会社
 むつみ造園土木株式会社
 名鉄観光サービス株式会社秋田支店
 有限会社桃山
 有限会社もやちゃん食品
 山下商事株式会社
 医療法人祐愛会加藤病院
 ユーアイ警備保障株式会社
 ユナイテッド計画株式会社
 菱明三菱電機機器販売株式会社
 鹿前運輸株式会社

【個人】

有馬 昇 小林 忠雄 佐藤 正雄 荘司 典昭 殿村硯太郎 奈良 正人 蒔苗昭三郎

※あいうえお順 ※8月末受付まで

「スポーツ立県あきた」応援キャラクター「スパッキー」グッズ

ポロシャツA

■ポロシャツA ¥3,000
 ホリエステル65% 綿35% シルケットニカム
 プリント加工 (スパッキー単色)
 ※赤はホリエステル100%
 サイズ:SS~2XO 赤はSS~O

追加

ポロシャツB

■ポロシャツB ¥2,500
 ホリエステル 100%
 刺繍加工 (スパッキー単色)
 サイズ:SS~2XO

追加

ポロシャツC

■ポロシャツC ¥3,200
 ホリエステル65% 綿35% シルケットニカム
 刺繍加工 (スパッキーカラー)
 サイズ:SS~2XO

NEW

ポロシャツD

■ポロシャツD ¥2,700
 ホリエステル 100%
 刺繍加工 (スパッキーカラー)
 サイズ:SS~2XO

NEW

Tシャツ

■Tシャツ ¥1,800
 ホリエステル 100%
 プリント加工 (スパッキー単色)
 サイズ:SS~2XO

スウェットA

■スウェットA ¥4,000
 綿100%
 刺繍加工 (スパッキー単色)
 サイズ:S~2XL

スウェットB

■スウェットB ¥4,200
 綿100%
 刺繍加工 (スパッキーカラー)
 サイズ:S~2XL

NEW

windブレーカー

■windブレーカー ¥5,500
 ホリエステル100%
 刺繍加工 (スパッキーカラー)
 サイズ:S~XO

NEW

アクリルストラップ

¥700

ソーラーキーホルダー

¥600

フェイスタオル

¥800
 綿 100%
 34cm × 85cm

マフラータオル

¥1,000
 綿 100%
 19cm × 115m

キャップ

¥1,500
 フリーサイズ
 2ヶ所刺繍 (単色)

ステンレスクリップ

¥600
 2枚/組

ゴルフマーカー

¥1,000

リストバンド

¥500
 H:9cm × W: 8cm
 刺繍加工

やむを得ない事情により、商品仕様等を変更する場合がございます。また、在庫切れ等により、納期を頂戴する場合があります。あわせてご了承下さい。

詳細については、秋田県体育協会のホームページ (<http://www.akitaikyo.or.jp>) でご案内しております。

販売店 竹半スポーツ(秋田市) TEL. 018-862-4737 FAX. 018-862-4752

好評
発売中!



車用ステッカー ¥700 8.5cm×21cm



会社用ステッカー ¥900 20cm×50cm

※ 詳しくは秋田県体育協会ホームページ
<http://www.akitaikyo.or.jp/> をご覧下さい。

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.[®]

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018(865)5461 FAX 018(888)1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

松田グループ

株式会社 松 田 株式会社 湯沢生コン
株式会社 丸栄建設 株式会社 出羽運輸
株式会社 エイコウ物産

本 社 / 湯沢市鶴館39-4 ☎0183-73-0188
URL <http://matsuda-group.jp>

事業内容
会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木 村 了
税理士 進 藤 俊 作

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022代
山王事務所 / 秋田市山王七丁目 5 番32号 Tel.018-863-7868

美人を育む秋田米

“あきたこまち”はデビュー 30 周年



JA全農あきた

〒010-8558 秋田市八橋三丁目 10-16
TEL018-864-2401



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター

アリナス

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ 宿 泊 室
レ ニ ン グ ル ーム シ ョ ッ プ ス ト ラ ー
温 水 プ ー ル 温 泉 浴 場
研 修 室 (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台 2 番地 1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



あん スポ安くん

いざというときしっかりサポート

心配なくて大丈夫

頼りに
なります!



傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成26年3月から)



加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人あたり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円 100万円 150万円 1,000円 500円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。	対象外
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 自動交通事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	65歳以上 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算1事故500万円	対象外
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算1事故500万円	対象外

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退席する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL018-883-0360

〈(公財)秋田県体育協会内〉
電話受付時間：午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)

東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(平成26年4月予定))

あいあいッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上

平成25年12月作成 0792-1304-B13259-201312
1701-1304-B13247-201311